

第4部

Part 4

貿易単価指数表（総合および産業分類別）の見方

黒子正人

第4部表1「貿易単価指数表（総合および産業分類別）」はアジア経済研究所が推計した貿易指数の一部であり、東アジア諸国・地域および米国からなる11カ国・地域の貿易単価指数である。指数は連鎖フィッシャー方式により計算され、国連のCommodity Trade Statistics Database (Comtrade) における複数のSITCの改訂版およびHSのバージョンを利用している。

指数の詳細な作成方法については本書の第5章「SITC、HS 各改訂版の国連貿易統計による貿易指数の作成」で示されている。表の基本的な体裁を木下・山田（1993）の附表に倣っている。

1. 表の見出し

表の並び順は、表の見出しに示されている報告国、相手国グループ、輸出入の順となっている。表の見出しの内容は以下の通りである。

1.1 報告国・地域

「Reporter」は、報告国・地域を示し、東アジア諸国・地域（中国、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、台湾）、米国の11の国・地域からなる。これらは表1-1に示す略号で表されている。この略号はISO（国際標準化機構）が定めた3文字の国コードに準拠したものである。表の並び順は略号のアルファベット順である。なお、ドイツは、1990年以前は旧西ドイツのみを含む。

1.2 相手国グループ

「Partner」は相手国グループを示し、World、EU15、JPN、ASIA、US/CA からなる。世界は、Comtradeにもともと含まれる世界計のデータを用いた。各相手国グループに含まれる個別相手国・地域は表1-2のとおりである。

1.3 輸出入区分

「Direction」は輸出入区分を示し、輸入 (Import) と輸出 (Export) の2種類からなる。なお、国連Webサイトから入手できるComtradeのデータの輸出金額には再輸出 (Re-export) 金額が含まれているため、Comtradeによる輸出指数には再輸出も反映されている。

2. 列の見出し

各表の列の見出しの内容は以下のとおりである。

2.1 報告年

「RY」は、元データの報告年、およびそれから作成された各指数の年を示している。連鎖方式の指数であるため、最初に指数を作成するときの各基準年は報告年の前年である。最終的にそれらは2000年を基準年（100）とする指数連として接続される。

表 1-1 報告国

略号	国名	略号	国名	略号	国名
CHN	中国	KOR	韓国	THA	タイ
HKG	香港	MYS	マレーシア	TWN	台湾
IDN	インドネシア	PHL	フィリピン	USA	米国
JPN	日本	SGP	シンガポール		

(出所) 著者作成

表 1-2 相手国グループ

相手国グループ	含まれる国
World	World total (0)
EU15	Austria (40), Belgium (56), Belgium-Luxembourg (58), Denmark (208), Finland (246), France (251), Germany (276), fmr Dem. Rep. of Germany (278), fmr Fed. Rep. of Germany (280), Greece (300), Ireland (372), Italy (381), Luxembourg (442), Netherlands (528), Portugal (620), Spain (724), Sweden (752), United Kingdom (826)
JPN	Japan (392), Ryukyu Isl (647)
ASIA	China (156), “China, Hong Kong SAR” (344), Indonesia (360), Rep. of Korea (410), fmr Sarawak (457), Malaysia (458), fmr Peninsula Malaysia (459), fmr Sabah (461), Taiwan (490), The Philippines(608), Singapore(702), Thailand(764)
US/CA	Canada (124), United States (before 1981)(841), United States (842), US Virgin Isl. (850)

(出所) 著者作成

(注) 括弧内の 3 桁の数字は国連の国コードを示す。

表 1-3 各列の見出し

列見出し	説明	列見出し	説明
RY	元データの報告年	06:LT	皮革
CREV	元データの商品分類の改訂版、バージョン: S1: SITC Revision 1 S2: SITC Revision 2 S3: SITC Revision 3 H88: HS 1988/1992 H96: HS 1996 H02: HS 2002	07:WD	木材・同製品
		08:PP	紙パルプ
		09:RB	ゴム・プラスチック
		10:CH	化学製品
		11:PC	石油石炭製品
		12:NM	窯業土石製品
		13:IS	鉄鋼
		14:NF	非鉄
ALL	全産業（総合指数）	15:MT	金属製品
01:AG	農林水産品	16:MC	一般機械
02:MI	鉱業製品	17:EM	電気機械
03:FD	食料	18:TE	輸送機械
04:TX	繊維	19:PI	精密機械
05:AP	衣服・身回品	20:MM	その他製造品

(出所) 木下・山田（1993）にもとづき著者作成

2.2 商品分類改訂版

「CREV」は、Comtrade に含まれる商品分類 SITC 各改訂版と HS 各バージョンを示している。S1、S2、S3 が SITC 改訂第1版、第2版、第3版をそれぞれ示し、H88、H96、H02 が、HS1988/92、HS1996、HS2002 をそれぞれ示す。報告国台湾の指数は、アジア経済研究所の独自の方法により作成された SITC 改訂第1版の商品分類のみを含む AID-XT 基礎データを使用している。

2.3 産業分類

「01:AG」から「20:MM」までの見出しは、木下・山田（1993）の集計分類に従った産業分類を示している。指数作成の入力元データの SITC 商品分類をこの産業分類に変換するために使用した変換表は、野田・黒子（2006）の付表1および本書の第5章の附表1～3である。

表 1-3 に見出しの各記号の意味を示している。

「ALL」は全ての産業分類別指数からウェイト集

計された総合指数である。

3 指数算出式

指数は連鎖フィッシャー方式により計算されている。

参考文献

- 木下宗七・山田光男（1993）「国別・商品別輸出デフレーター の推計と若干の吟味—国連貿易統計による—」『調査と資料』第97号 名古屋大学経済学部 附属経済構造研究センター
- 野田容助・黒子正人（2006）「序章 東アジア諸国・地域と米国における貿易関連指数の見方」（野田容助・黒子正人共著 『東アジア諸国・地域と米国の貿易関連指数』 調査研究報告書別冊 アジア経済研究所）
- (http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2005_02_04a_mokuji.pdf)